

産業厚生常任委員会 資料

令和6年2月15日

上下水道部

目 次

- 1 下滝野地区雨水幹線改築事業について…………… P1～6
- 2 上下水道事業の進捗について…………… P7～17

下滝野地区雨水幹線改築事業について

1 事業概要（P. 2）

既設水路（幅 3.0 m×高 1.7 m）は、昭和 54 年に設置され、施工後 44 年が経過しています。点検・調査の結果、水路の浮き上がりによる水路勾配の異常（一部、逆勾配）、側壁の傾き（最大 3.3 %）及びひび割れ（幅 10 mm）が確認されたため、修繕または改築の必要があります。

2 関連事業（滝野地域小中一貫校事業）について（P. 3～5）

既設水路の位置に、小学用グラウンド、小学校教育棟の学校施設の建設が計画されています。

既設水路に蓋掛けをし、水路の上に学校施設を建設した場合、水路の維持管理及び将来改築する場合において支障をきたすことから、水路位置を市道側へ移設します。

関連事業では、令和 6 年度に造成等の先行工事、令和 7 年度以降に本工事が予定されているため、水路の移設を令和 6 年度に行う必要があります。

既設水路は、開渠（一部は暗渠）となっていますが、土地の有効活用、安全性を考慮し、今回改築する全区間（L＝280 m）において、地下に埋設する暗渠構造（ボックスカルバート工）を採用します。

3 事業スケジュール及び概算事業費について（P. 6）

（1）事業スケジュール

令和 5 年度・・・詳細設計、埋蔵文化財調査

令和 6 年度・・・埋蔵文化財調査、積算業務、改築工事

（2）概算事業費

令和 5 年度	詳細設計	7, 9 5 7 千円
	<u>埋蔵文化財調査</u>	<u>1 0, 4 5 0 千円</u>
	合 計	1 8, 4 0 7 千円
令和 6 年度	埋蔵文化財調査	■■■■■ 千円
	積算業務	■■■■■ 千円
	<u>改築工事</u>	<u>■■■■■ 千円</u>
	合 計	■■■■■ 千円

平面図（現況・計画）

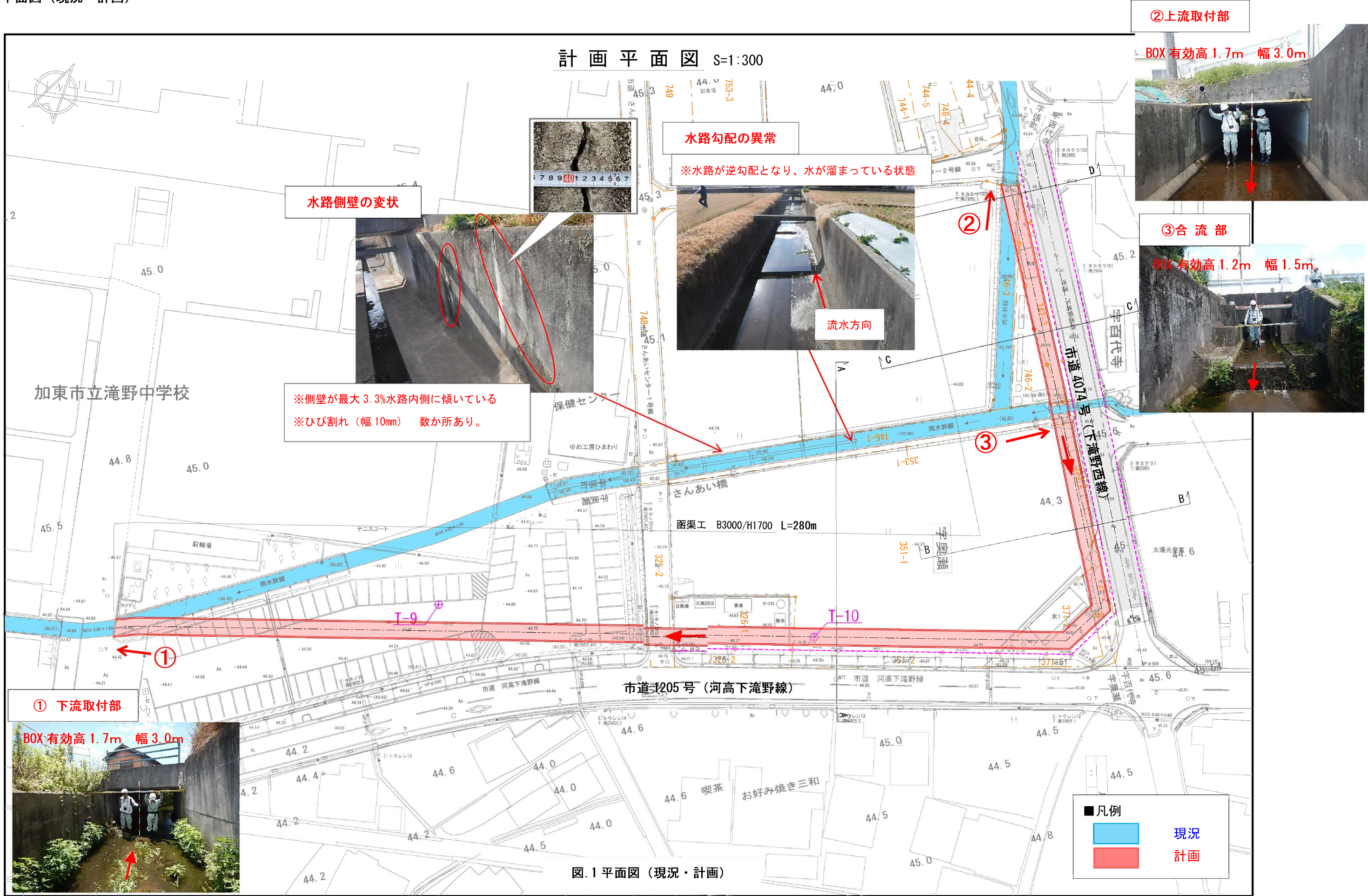


図.1 平面図（現況・計画）

平面図（滝野地域小中一貫校計画との配置重ね図）

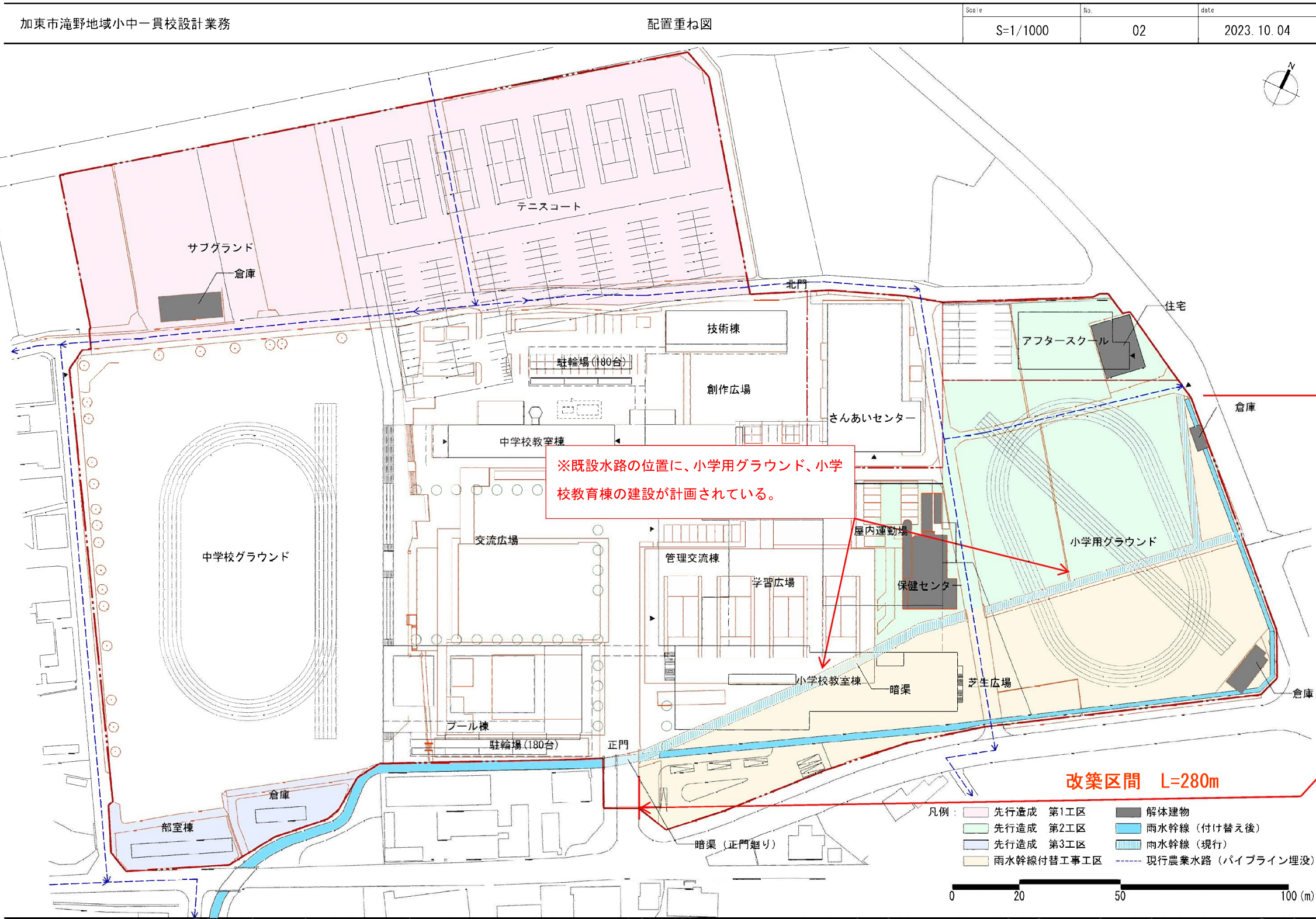


図. 2 配置重ね図（小中一貫教育推進室より受領 2023 年 10 月 24 日時点）

標準横断図

施工時、完成時における道路境界との位置関係を以下に示す。

1. 1. 1. 市道 1205 号（河高下滝野線）

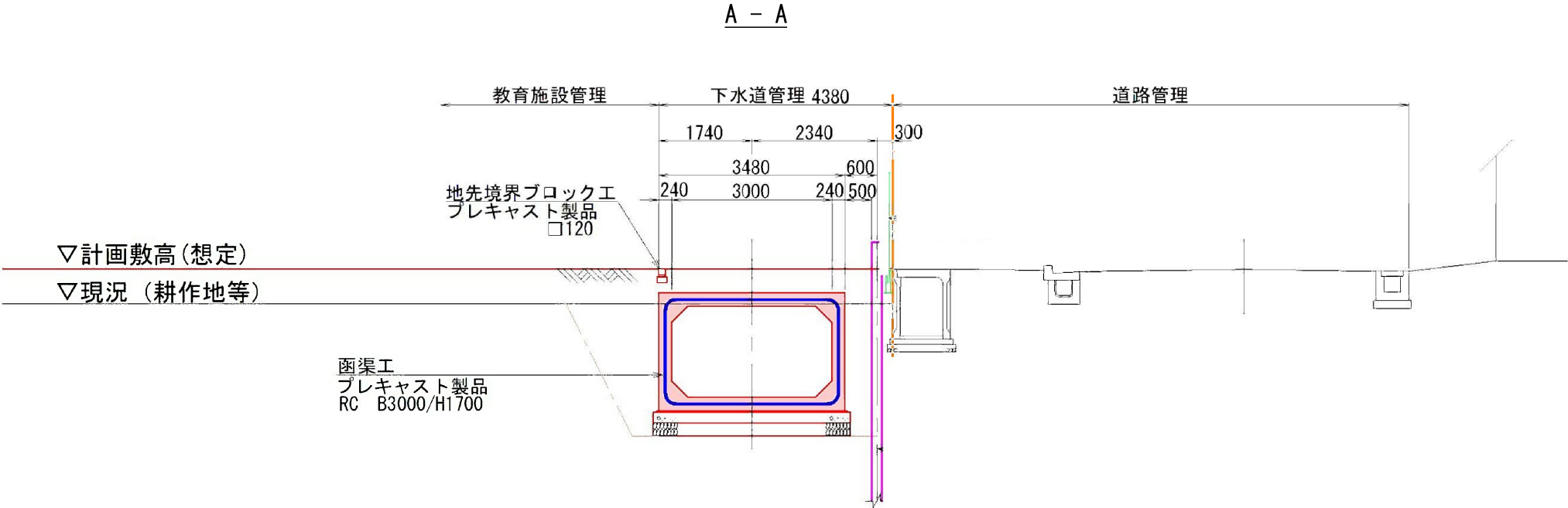
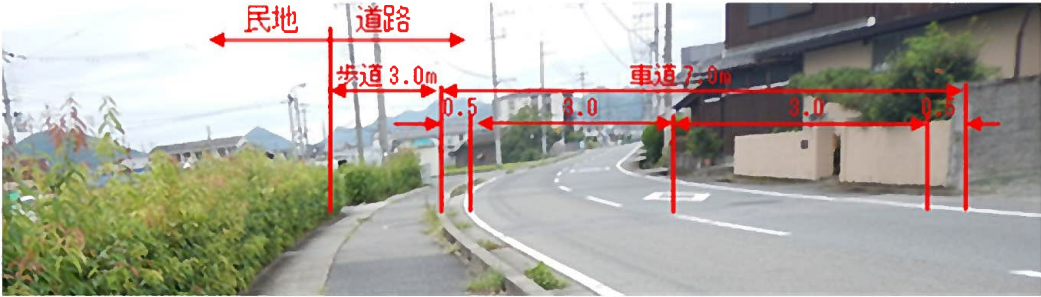


図. 3 標準部（プレキャスト部材）

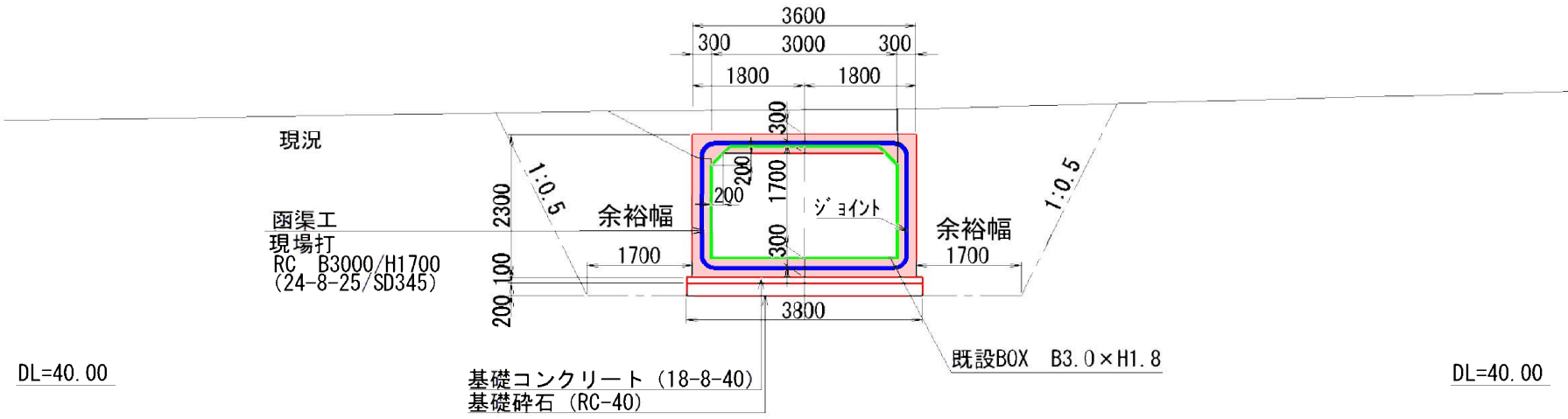


図. 4 下流 BOX 接続部（現場打ち部材）

1. 1. 2. 市道 4074 号（下滝野西線）

B - B

C - C

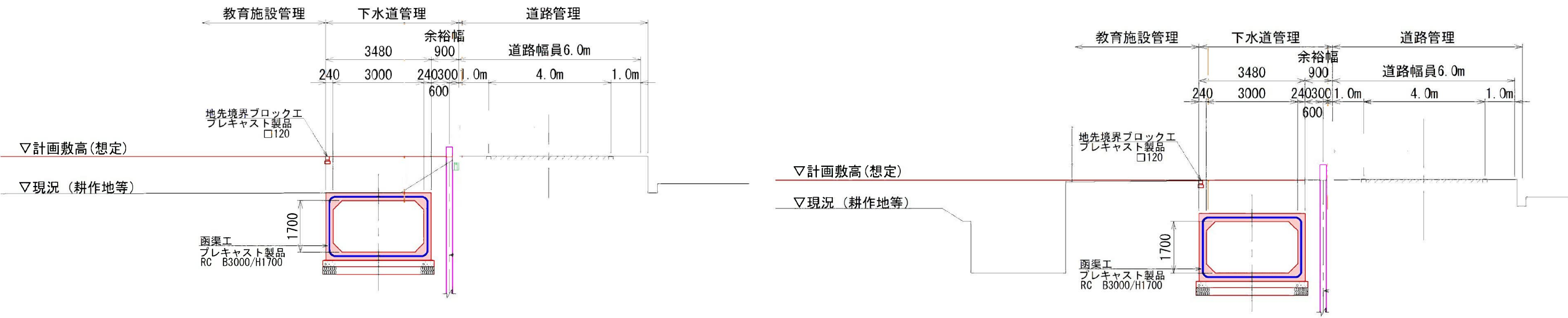


図. 5 標準部（プレキャスト部材）

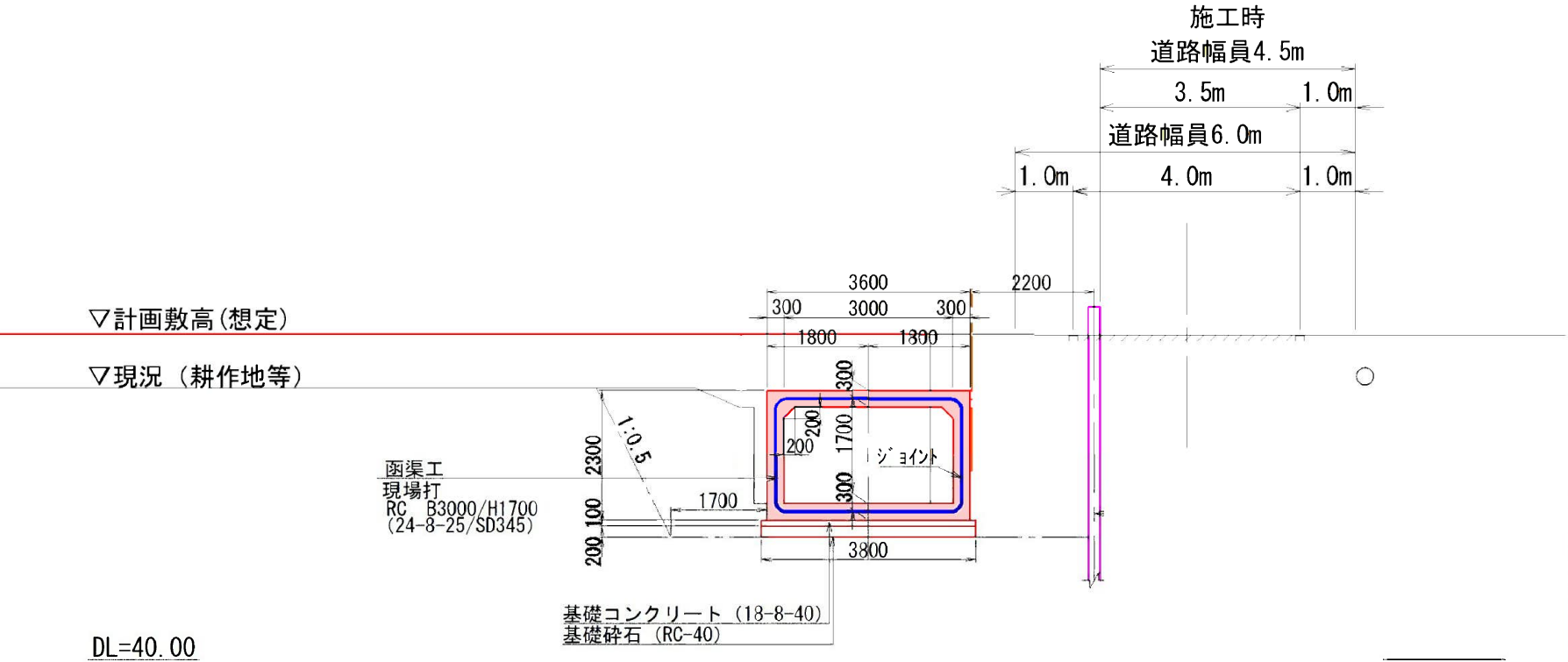
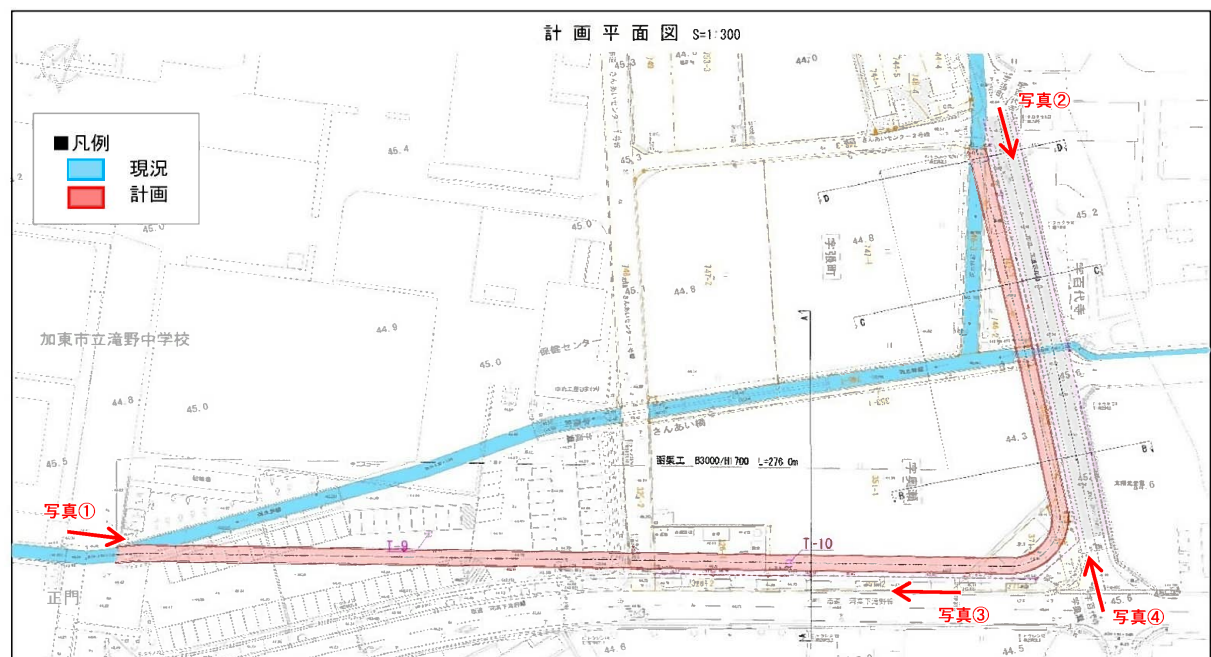


図. 6 接続部など（現場打ち）

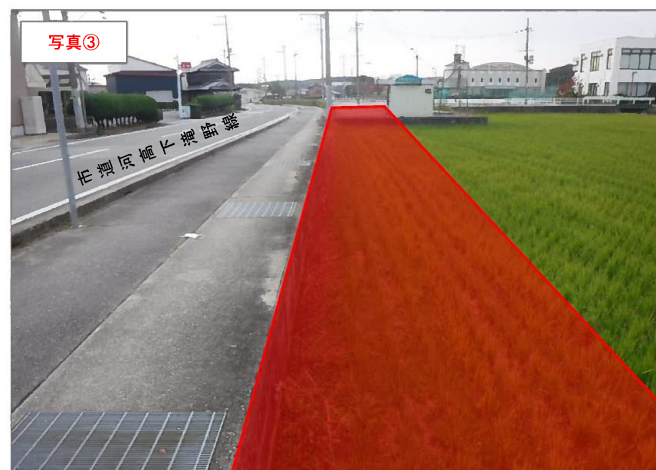
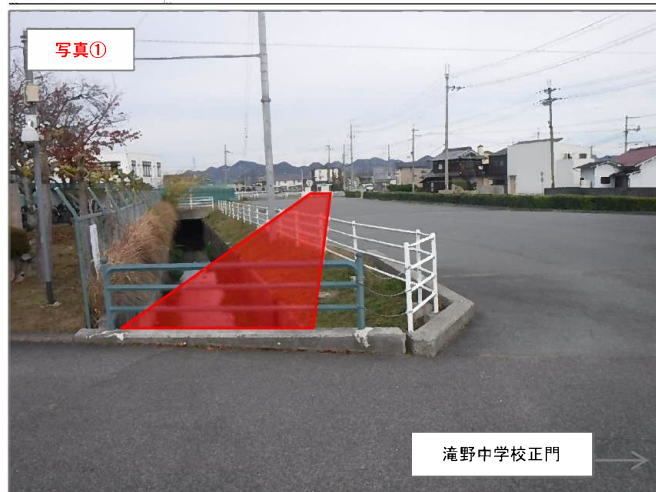


平面図、事業スケジュール及び概算事業費



事業スケジュール・概算事業費

年度 月	2023年度 (R5年度)												2024年度 (R6年度)												事業費 (千円)		備考
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	R5年度	R6年度	
雨水幹線改築事業																											
合 計																									18,407		



上水道事業の進捗について

○統合浄水場整備事業

1 広沢浄水場と滝野浄水場の統合について

広沢浄水場（山国地区）と滝野浄水場（北野地区）は、ともに昭和４８年に建設され、既に建設後５０年が経過しています。また、いずれの浄水場も耐震性が低く、安定的な水道水の供給を持続していくには、早急な耐震化工事が必要です。そこで、浄水場を個々に更新する場合と、広沢浄水場を統合浄水場として更新し、滝野浄水場を廃止する場合とで経済比較を行った結果、後者が優位であったため、現在、統合浄水場の整備を進めています。なお、滝野浄水場の除却は、令和６年度から着工する予定です。

2 広沢浄水場の工事進捗状況（P. ８～９）

令和３年度末・・・・・・浄水設備棟完成

令和４年度末・・・・・・管理棟、浄水池、給水車庫完成

令和６年度９月末・・・・排水・排泥池、天日乾燥床完成予定

3 広沢浄水場の事業計画変更

（１）工程の変更（P. １０）

現在施工中の排水・排泥池ほか更新工事において、社会情勢の変化に起因するサプライチェーンの遅延で、汚泥掻寄機の納入が当初の工期（令和６年３月２２日）に間に合わないことが判明したため、工期を令和６年９月２０日まで延伸しました。

（２）事業費の変更（P. １１）

現在施工中の排水・排泥池ほか更新工事において、工事請負額を下記のとおり変更する見込みです。

５５８，１４０千円 → 約■■■■千円（約■■■■千円の増）

・単品スライド（コンクリート） 約■■■■千円

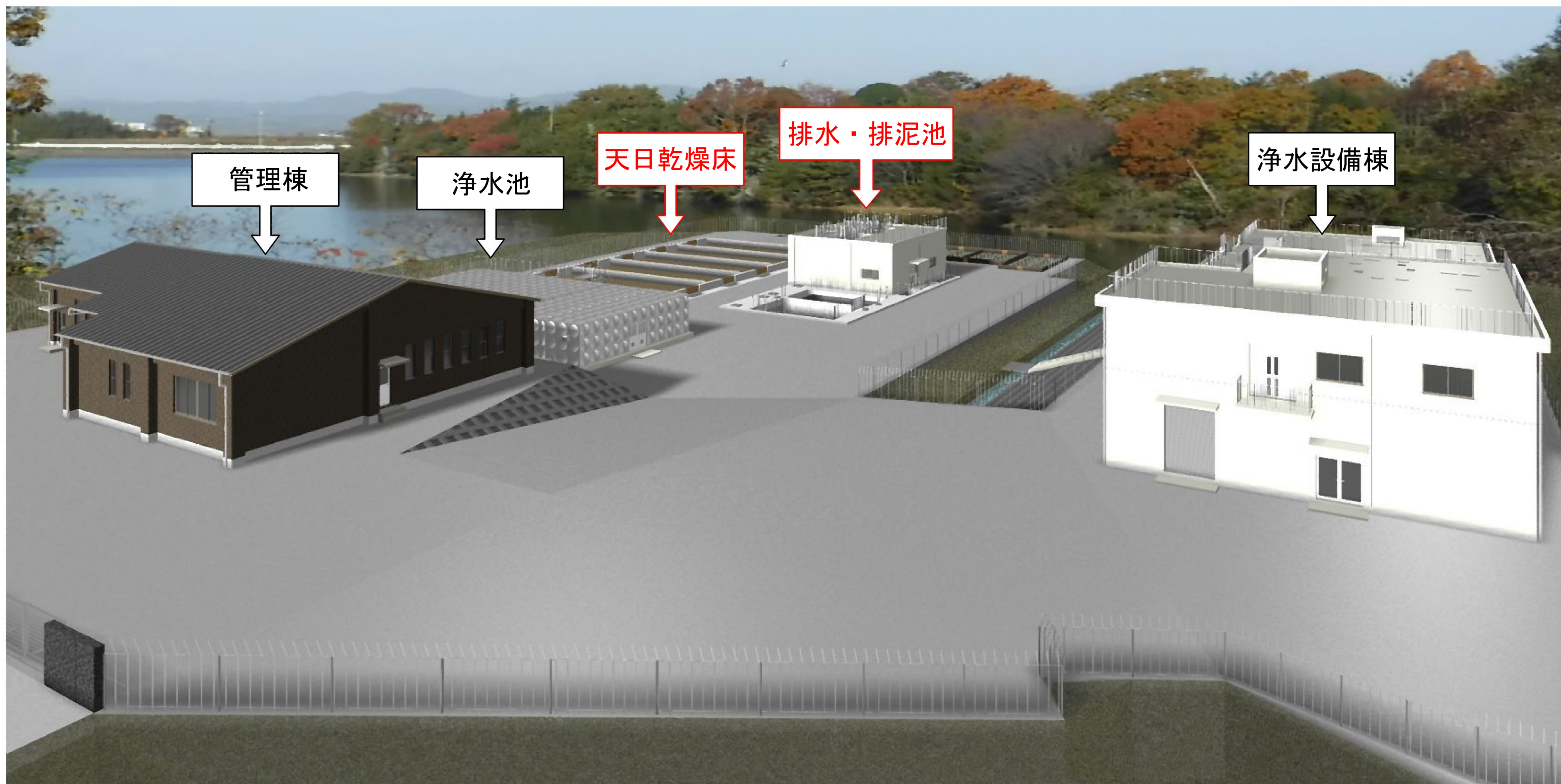
・掘削残土の仮置き追加 約■■■■千円

・水替工追加 約■■■■千円

・配管、舗装の一部変更 約■■■■千円

・管理性向上のための設備追加（水槽点検用梯子、排水管等）

約■■■■千円



広沢浄水場 排水・排泥池ほか更新工事 現況写真（令和6年2月1日撮影）



No.1

施設名：排水・排泥池（手前）

天日乾燥床（奥）

撮影方向：西向き



No.2

施設名：排水・排泥池

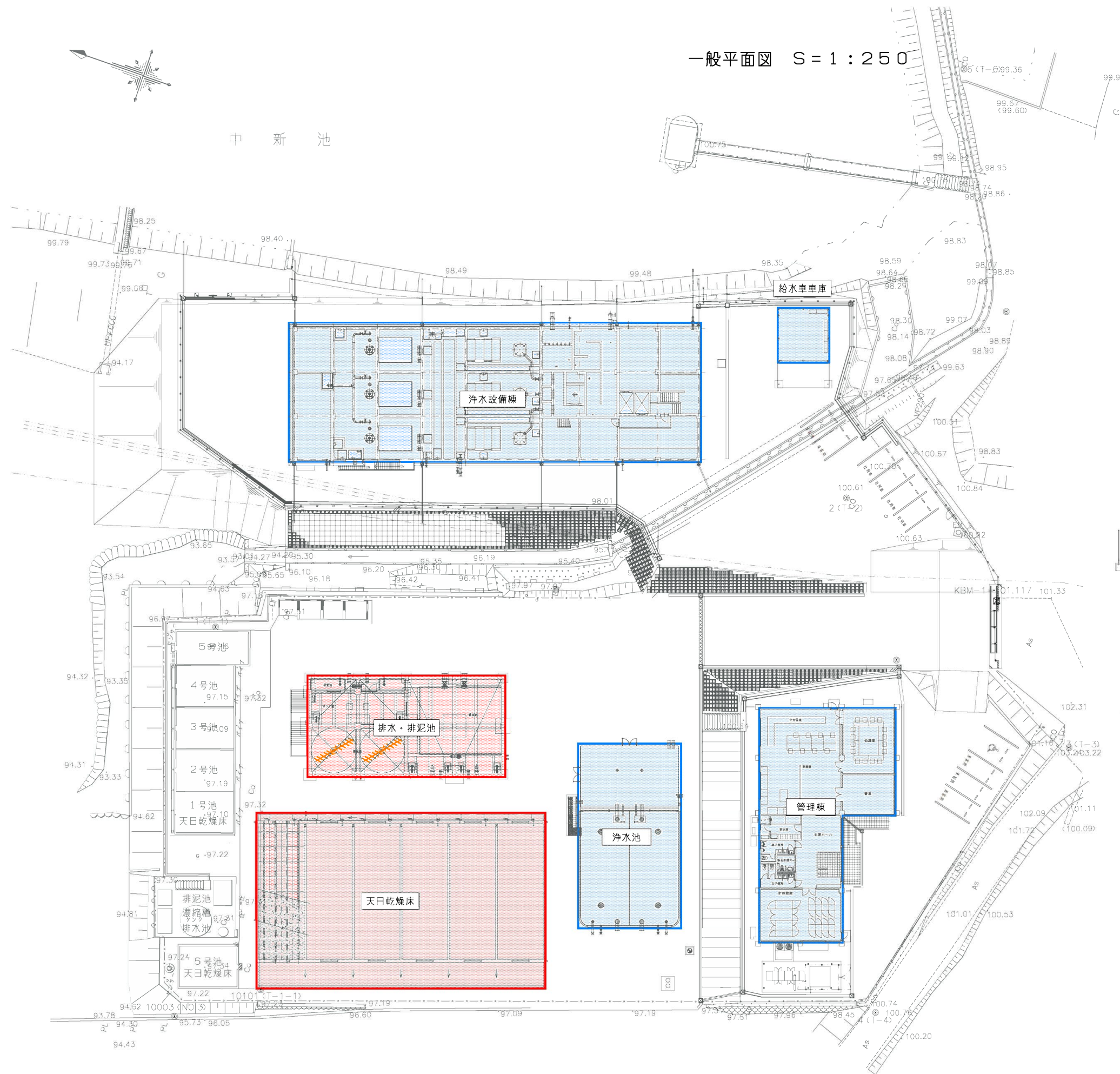
撮影方向：北西向き



No.3

施設名：天日乾燥床

撮影箇所：北東向き

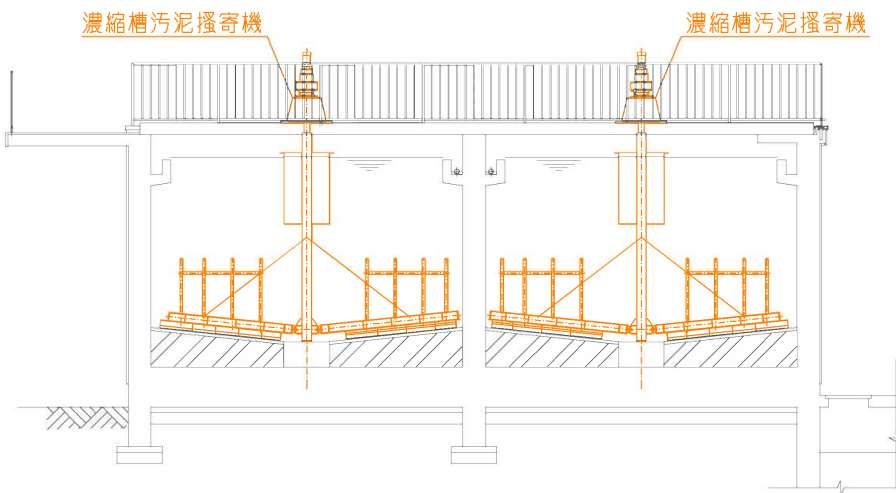


一般平面図 S = 1 : 250

建設工事	2023 R5	2024 R6
排水・排泥池		
天日乾燥床		
機械・電気設備		
場内配管		
場内整備		

前回工程 (R5.1.20開催 産業厚生常任委員会報告)
 変更工程

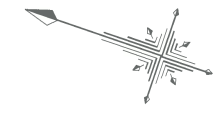
排水・排泥池断面図



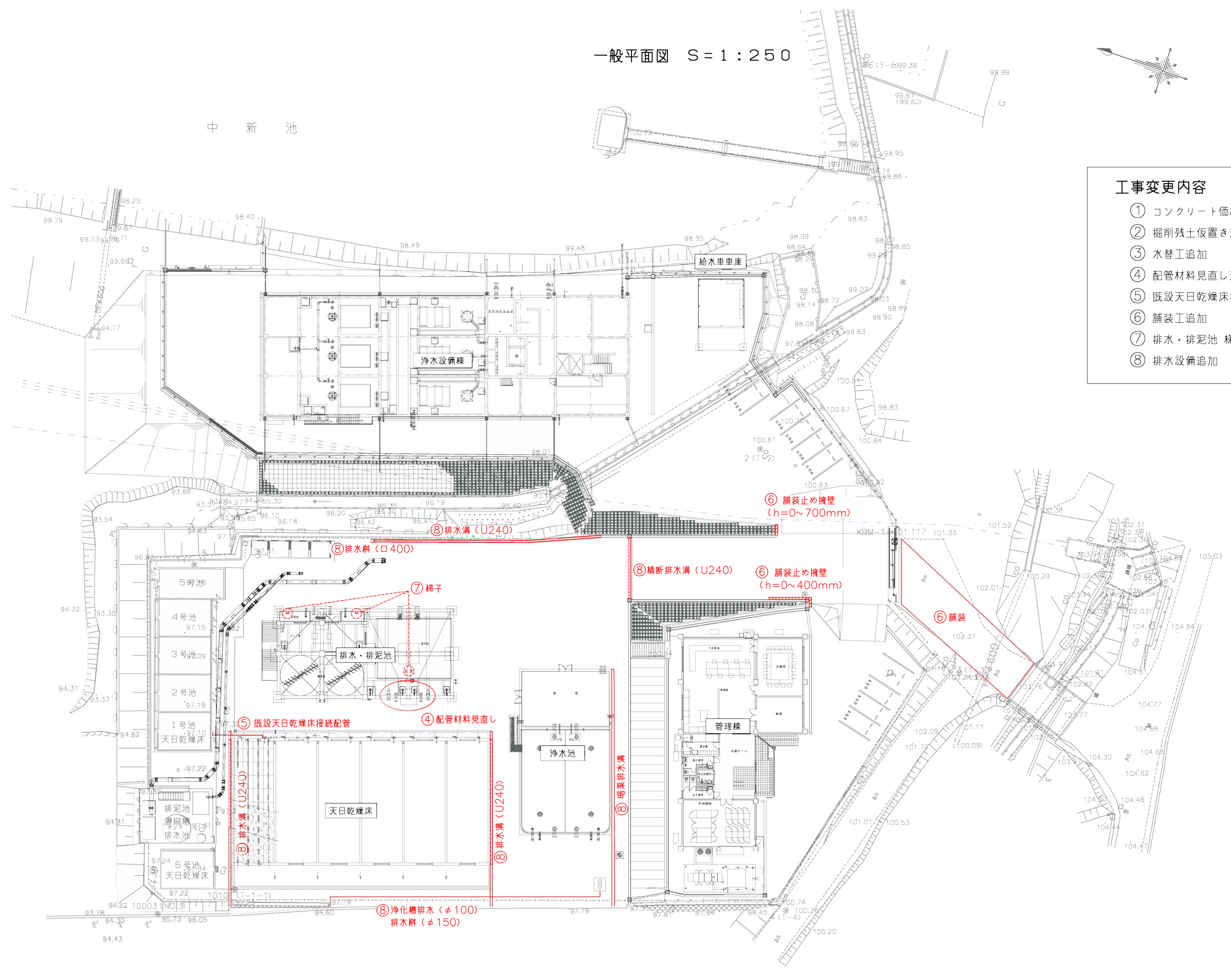
凡例	
	施工済
	R6繰越予定
	遅延箇所

令和5年度 生活基盤施設耐震化等交付金事業 広沢浄水場 排水・排泥池ほか更新工事 加東市 山国 2030-42 (広沢浄水場)	
一般平面図	葉全
縮尺 1:250	
加東市	

一般平面図 S = 1 : 250



中 新 池



工事変更内容

- ① コンクリート価格高騰
- ② 掘削残土仮置き追加
- ③ 水替工追加
- ④ 配管材料見直し追加
- ⑤ 既設天日乾燥床接続配管追加
- ⑥ 舗装工追加
- ⑦ 排水・排泥池 梯子追加
- ⑧ 排水設備追加

令和5年度 生活基盤施設耐震化等交付金事業	
広島浄水場 排水・排泥池ほか更新工事 加東市 山国 2030-42 (広島浄水場)	
一般平面図	業全
縮尺 1:250	
加 東 市	

下水道事業の進捗について

○下水処理場統合整備事業

1 下水処理場統合整備事業について

下水処理場統合整備事業は、令和元年度より、生活排水処理関連事業全体の経営健全化を目的とし、農業集落排水区域等について公共下水道区域への接続を段階的に進めています。

今年度は、上福田北部地区を公共下水道区域に接続します。

2 上福田北部地区下水処理場統合整備事業の進捗について（P. 13～14）

管路工事は、公共下水道区域への接続が完了し、令和5年12月1日付で流入を開始いたしました。また、旧処理場については、当該地域の管理棟として利用するため、改修工事を行っています。しかし、必要資材である電線についてメーカーの在庫が無く、生産が注文に追いついておりませんので入荷が4月以降となり、令和6年度への繰越を予定しています。

○ストックマネジメント事業

1 スtockマネジメント事業について

令和3年度に策定した、ストックマネジメント計画に基づき、マンホールや管路の点検調査及び管更生（管の補強）や管の入替え等を行い、適切に管理していくことで、経営の効率化を図ります。

2 令和5年度事業の進捗状況について（P. 15）

（1）委託

カメラ調査	370m
マンホール点検工	458基
地上点検工	1,115基
管更生詳細設計	607m

（2）令和6年度への繰越について（P. 16～17）

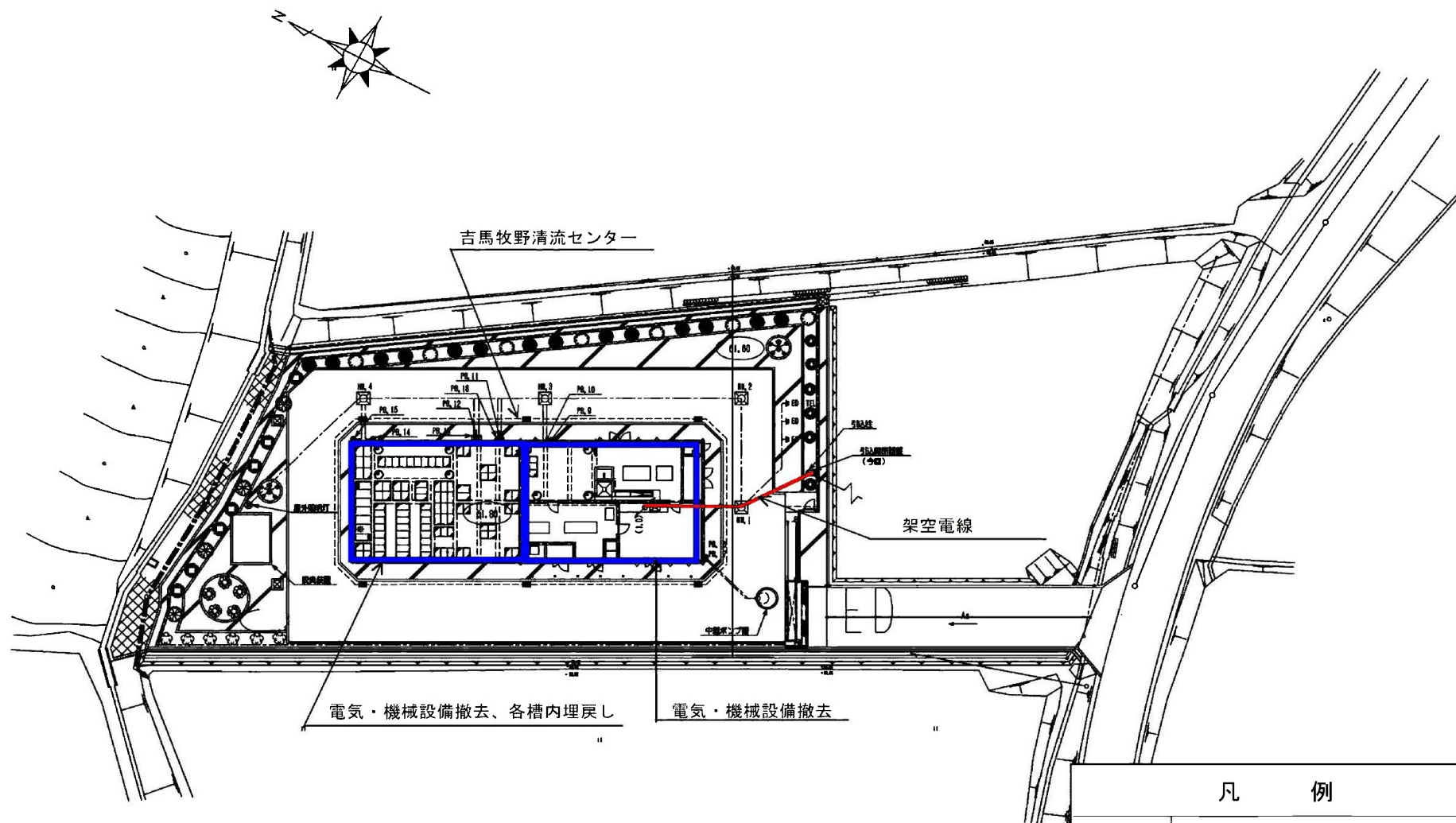
令和5年度事業を実施するにあたり、入札減で生じた社会資本総合整備事業費を活用し、令和6年度施工予定である管更生の工事を実施するため一部事業費を繰越します。

繰越予定事業費	千円
管更生工事	607m

上福田北部地区 管路平面図

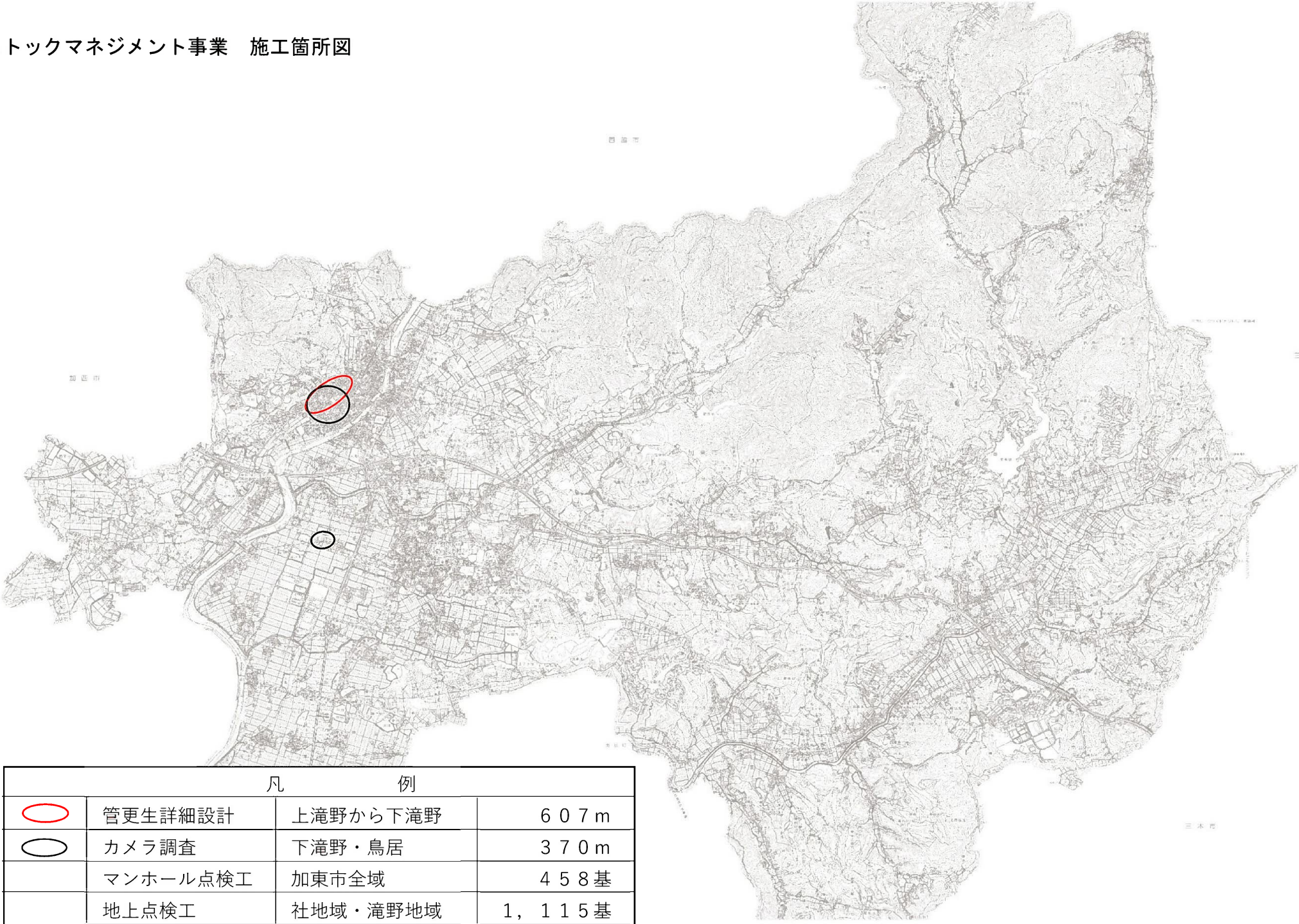


上福田北部地区 機械・電気設備撤去平面図



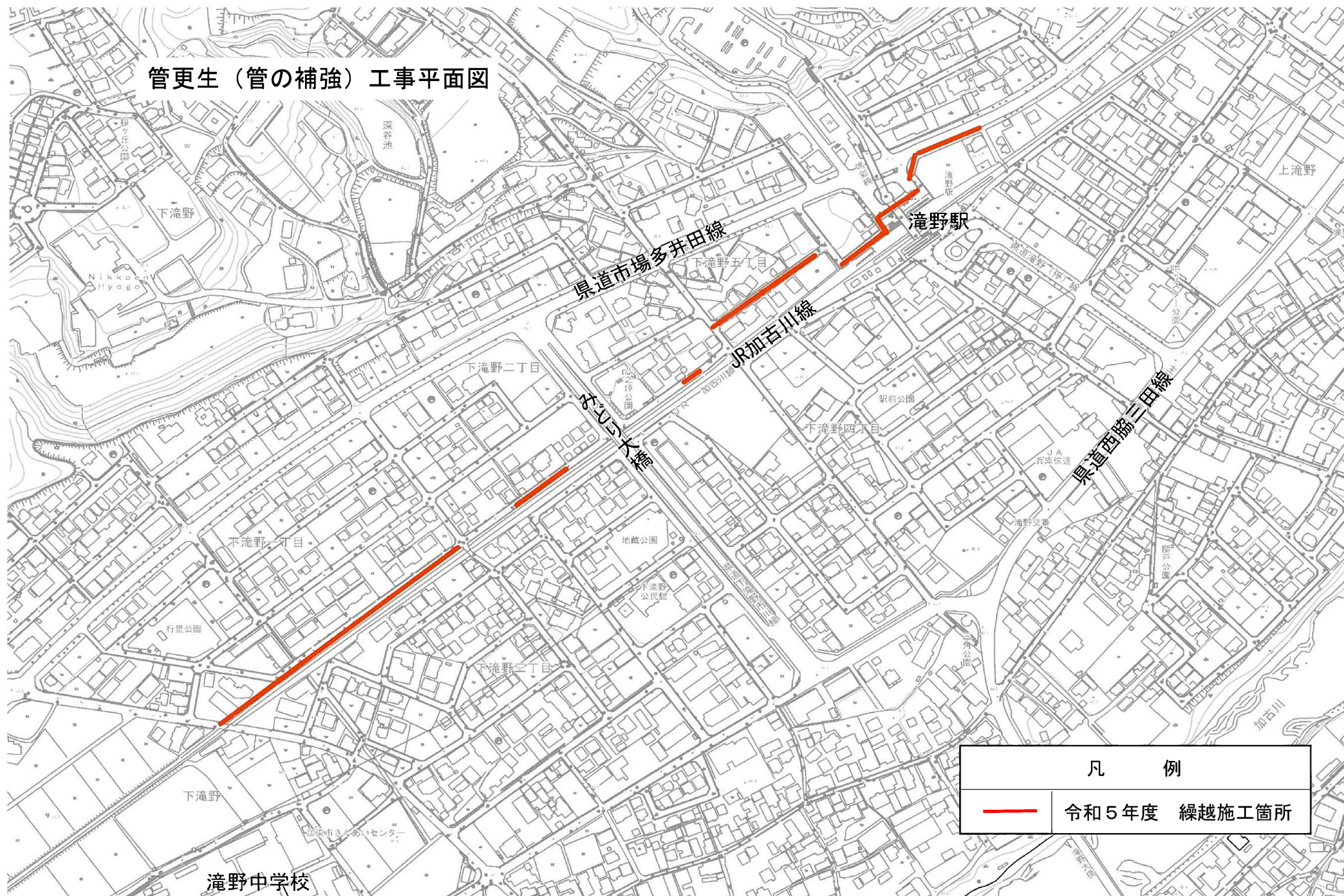
凡 例	
	令和5年度 施工箇所
	令和5年度 繰越施工箇所

ストックマネジメント事業 施工箇所図



凡 例			
	管更生詳細設計	上滝野から下滝野	6 0 7 m
	カメラ調査	下滝野・鳥居	3 7 0 m
	マンホール点検工	加東市全域	4 5 8 基
	地上点検工	社地域・滝野地域	1, 1 1 5 基

管更生（管の補強）工事平面図

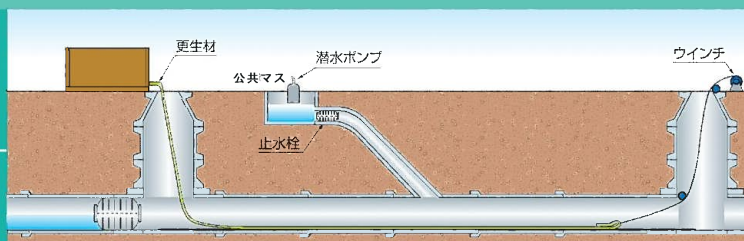


凡 例	
	令和5年度 繰越施工箇所

管更生（管の補強）工法の一例

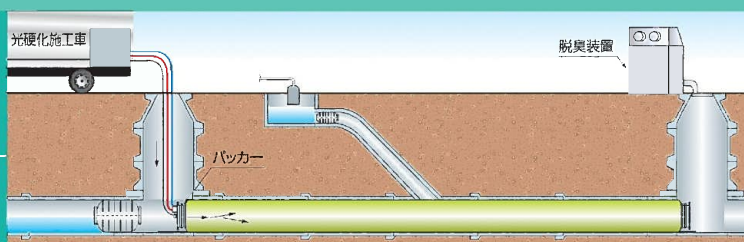
Step 1 引込工

既設管内に更生材を
引込み挿入します。



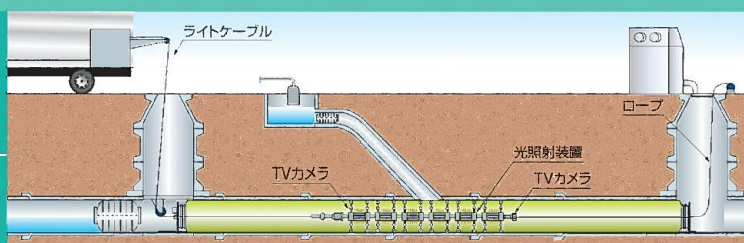
Step 2 拡張工

圧縮空気で更生材を
拡張します。



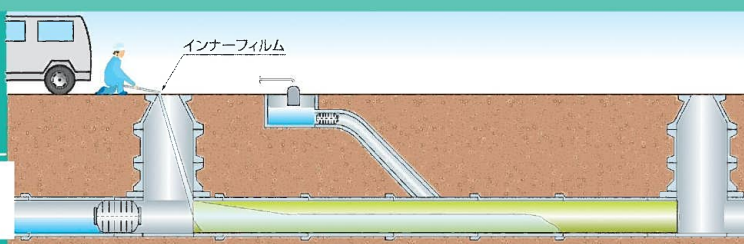
Step 3 硬化工

管内に引き入れた光照射
装置を走行させ、更生材
に光を照射して硬化させ
ます。



Step 4 インナーフィルム除去工

硬化後、インナーフィルム
を除去します。



Step 5 取付管口穿孔工

更生材の両端部を切断後、
管内からロボットカッター
用いて、取付管口のせん孔
を行います。

